
基本目標 4 地域の特性を活かした、 働きやすいまち

- 4-1 持続的な農業の振興78
- 4-2 地域に根ざした商工業の振興80
- 4-3 地域資源を活かす観光の振興82
- 4-4 働き続けられる雇用84

日本の食を支える八千代町

育て未来へ

若きファーマー

【「未来の八千代町」標語：神奈川県 70代】

基本目標4 地域の特性を活かした、働きやすいまち

4-1 持続的な農業の振興



基本方針

担い手の育成をはじめ、生産・流通体制の強化やブランド化と6次産業化、生産基盤や農村環境の整備を行い、東京圏近郊の地理的な優位性を活かし、食品企業などとの連携による農業の発展を目指します。

目標指標

目標項目	現況値	目標値
農産物ブランド力強化支援事業による加工品開発件数	—	3件
新規就農者数（5年間の累計）	27人 (平成27～令和元年度)	30人
認定農業者数	265経営体 (令和元年度)	270経営体

取組施策

1. 農業の担い手を確保・育成します

- ▶若者が安心して農業に従事できるよう、栽培技術経営管理相談会の実施や学校農園への支援、就農のための仕組みづくりを進めます。
- ▶新規就農者や認定農業者に対する各種支援制度の活用をうながし、農業後継者の確保と担い手の育成に努めます。
- ▶茨城県、関係機関、大学などと連携し、就農希望者へ適切な就農情報を提供するとともに、町内農家での農業研修の受入れを進めます。

2. 生産・流通体制を強化します

- ▶農業の担い手などの育成・確保をはかるため、必要な農業用機械・施設の導入を支援します。

- ▶生産者、茨城県、ＪＡ、市場など関係機関と連携し、首都圏などでの販売活動を強化するとともに、各種ＰＲ活動を進めます。
- ▶茨城県と連携し、本町の基幹産業となる農業に対するＩＣＴを活用したスマート農業の実践や省力化に向けた環境整備を支援します。
- ▶高品質米や業務用米など需要に応じた米づくりを進めます。
- ▶野菜や果物については、生産施設の整備をうながすとともに、流通体制の強化をはかります。
- ▶畜産については、優良種の導入と生産技術の改善を進め、質の向上をはかります。

３．農産物のブランド化と６次産業化を進めます

- ▶本町の特産品などの全国的なＰＲ活動を展開しながら、関係機関や各種団体との連携をはかり、農産物や特産品の八千代ブランドづくりを進めます。
- ▶６次産業化による付加価値や収益性の向上をはかるため、事業化を目指す人財の発掘や商品開発、販路開拓などの取り組みに対し、制度事業の活用に向けた支援を進めます。

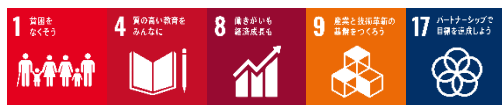
４．生産基盤の整備を進めます

- ▶畑地帯総合整備事業や地盤沈下対策事業などによる、生産性や作業効率の高い生産基盤の整備を進めます。
- ▶農業委員や農地利用適正化推進委員などと連携し、耕作放棄地の発生防止や解消に向けた取り組みに努めます。
- ▶農地中間管理機構の事業などを活用し、関係機関と連携をはかりながら、担い手への農地利用の集積・集約化を進めます。
- ▶農業振興地域整備計画に基づき、集団的な優良農地の確保・保全に努め、安定的な農業経営の支援をはかります。

５．持続可能な農業経営、農村環境の整備・保全を進めます

- ▶農地や用排水路、道路などの適正な維持管理とともに、地域環境の保全に向けた取り組みを進めます。
- ▶土づくりなどを通じて、化学肥料や化学農薬の使用を低減するなど、環境への負荷軽減に配慮した持続可能な農業を進めるとともに、安全・安心な農産物の生産を進めます。

4-2 地域に根ざした商工業の振興



基本方針

商業分野では、商工団体の育成支援や経営基盤の安定化、新規創業への支援をはかり、工業分野では、新たな企業立地や既存企業の規模拡大による雇用の確保をはかることにより、地域に根ざした活力のある商工業を目指します。

目標指標

目標項目	現況値	目標値
製造品出荷額	853.7 億円 (平成 29 年)	1,000 億円
新規立地企業件数	2 社 (令和 2 年度)	5 社
創業支援事業に基づく新規創業者数	—	1 件

取組施策

1. 商工団体の育成・支援を進めます

- ▶ 商工会との連携を強化し、消費者ニーズを把握しながら、商工団体の育成を支援します。
- ▶ 商工会などが中心に開催する各種イベントの情報提供やイベントを支援し、商業の活性化を進めます。

2. 経営基盤の安定化を進めます

- ▶ 商工会などと連携をはかりながら、後継者の育成や確保に努めます。
- ▶ 商工会や金融機関などを通じて、中小企業者への経営情報の提供を行うとともに、経営相談・資金融資の充実に努め、経営・金融面からの支援を行います。

3. 新規創業や新たな事業展開を支援します

- ▶ 中小企業者の負担を軽減し商工業の健全な育成をはかるため、中小企業の創業に向けた事業資金の支援を行います。
- ▶ 商工会や金融機関などの創業支援機関と連携した創業支援ネットワークを構築し、新規創業者への様々な情報提供とともに、セミナーや相談会などによる新規創業者の開業を支援します。

4. 企業への支援を進めます

- ▶ 町独自の優遇措置を活用するなど、既存企業への業務拡張や本町への事業所・工場などの進出を支援するとともに、地元雇用や町内居住をうながす環境を整備します。
- ▶ 企業や町民のニーズを踏まえながら、茨城県や茨城県開発公社などと連携し、新たな産業系土地利用の確保について、調査・検討を進めます。
- ▶ 企業の操業環境の向上をはかるため、国・県道や筑西幹線道路などの幹線道路の整備を進めるとともに、幹線道路へのアクセス向上となる主要町道の整備を進めます。
- ▶ 企業が実施する事業所周辺の生活環境の改善・向上をはかる取り組みを支援します。



4-3 地域資源を活かす観光の振興



基本方針

地域資源を活かした観光事業をはじめ、地域間連携による観光や交流施設機能の連携、戦略的な情報発信を行い、通年での誘客を促進し、また、訪れたいと思えるまちを目指します。

目標指標

目標項目	現況値	目標値
憩遊館入館者数	68,800 人 (平成 30 年)	72,000 人
フィルムコミッションによる撮影数	1 件 (令和元年度)	2 件

取組施策

1. 地域資源を活用した観光事業を進めます

- ▶ 女性消費団体や憩遊館、農業農村活性化推進機構などが連携し、既存の観光資源の活用をはかります。
- ▶ 案内板などの設置や更新を進め、町内の観光資源の案内環境を充実させます。
- ▶ 観光マップやパンフレット、インターネットなどでの情報発信を行い、本町の PR 活動を進めます。
- ▶ 八千代グリーンビレッジや直売所などを拠点に都市と農村の交流を進めます。
- ▶ クラインガルテン八千代での農業体験をとおして、本町への理解を深め、都市と農村の交流を進めます。
- ▶ 各種団体が主体となる、地域での開催イベントを支援します。
- ▶ 野菜や果物の生産地として、収穫体験や農業体験などの体験型観光の充実をはかります。

- ▶ 地域資源などを活かしたシティプロモーション活動を積極的に展開し、本町のイメージアップにつなげます。
- ▶ 町内にある様々な資源を再確認し、町内の伝統行事の活性化と保存に努め、観光資源として発掘するとともに、それらの観光資源を組み合わせるなどの活用をはかり、交流人口の増加に努めます。
- ▶ 鬼怒川堤防に整備されたサイクリングロードを活用したイベントを開催するなど、自然環境資源の新たな活用をはかります。

2. 地域間連携による観光を進めます

- ▶ 近隣市町と連携し、鬼怒川堤防のサイクリングロードなど広域的な回遊型観光ルートの検討や観光キャンペーンの実施、イベント情報などの提供を進めます。
- ▶ 茨城県観光協会などの関係団体と連携し、情報発信や誘客活動を行います。
- ▶ 外国人観光客に対する情報の発信・提供や受入体制の整備をうながし、インバウンド市場の新規開拓に向け、調査研究を進めます。

3. 交流施設の機能を連携します

- ▶ 八千代グリーンビレッジ憩遊館、農村環境改善センター、町民公園などの既存の交流施設の充実とともに、施設間の機能連携の強化をはかります。

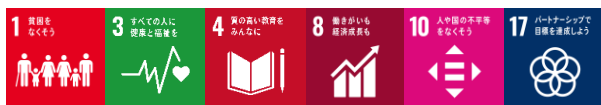
4. 戦略的な観光情報を発信します

- ▶ ホームページや SNS、マスメディアなどの様々な方法を効果的に活用し、誘客につながる、常に新しい観光情報の発信を行います。
- ▶ 効果的な誘客をはかるため、本町への旅行が多く見込まれるターゲットエリアや年代を選定し、旅行者に届くプロモーション活動の展開を進めます。



基本目標4 地域の特性を活かした、働きやすいまち

4-4 働き続けられる雇用



基本方針

雇用の確保・安定化をはじめ、高齢者や子育て世代の就労支援、勤労者福祉の充実、いきいきと働くことのできる環境づくりを行い、就業機会を確保し、働くことを希望するすべての町民が活躍できるまちを目指します。

目標指標

目標項目	現況値	目標値
新規学卒者雇用促進奨励金交付事業による雇用者数（4年間の累計）	39 件 (平成 28～令和元年度)	60 件
町内事業所の従業員数	7,454 人 (平成 28 年)	7,500 人

取組施策

1. 雇用の確保や安定化を進めます

- ▶ハローワークなどの関係機関と連携し、世代や特性に応じた就労機会の情報提供や合同面接会の開催など、就職支援を進めます。
- ▶就業していない若者に対し、専門機関などと連携し、職業意識の啓発や自立生活に向けた就業相談を進めます。
- ▶UIJ ターン希望者や未就業者に対して、就労に向けた支援をうながし、就業者の確保に努めます。
- ▶労働人口の減少や国の動向などを踏まえ、外国人労働者の受入に向けた対応を調査研究し、事業所における雇用の確保に努めます。

2. 高齢者の就労を支援します

- ▶ 高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を活かし、生きがいづくりにつながる就業ができるよう、シルバー人材センターの運営を支援します。
- ▶ 元気な高齢者の増加を踏まえ、関係機関と連携しながら、就労機会の創出に努め、勤労意欲の高い高齢者の就労を進めます。

3. 子育て世代の就労を支援します

- ▶ 結婚や子育てなどの理由で就業を中断した方を対象に、関係機関と連携しながら、就労に向けた相談会や、就労希望の実現に向けたセミナーの開催などを進めます。
- ▶ 子育てと仕事の両立を希望する方の就労活動を支援するため、託児サービスの実施や育児支援などを進めます。

4. 勤労者福祉を充実させます

- ▶ 労働者が安心していきいきと働き続けることができる環境づくりに向け、企業や関係機関などと連携し、ワーク・ライフ・バランスを進めます。
- ▶ 中小企業者の福利厚生の充実に向け、茨城労働局などの関係機関などと連携し、各種共済制度への加入を進めます。

5. 誰もがいきいきと働くことができる環境づくりを支援します

- ▶ ワーク・ライフ・バランス社会の実現をはかるため、事業主行動計画の策定に向けた普及啓発活動を進めるなど、多様な働き方を支援します。
- ▶ 日本人だけでなく外国人もいきいきと働くことができる労働環境の構築をはかるため、外国人の日本語習得や文化・交流を進める事業所などの取り組みを支援します。



